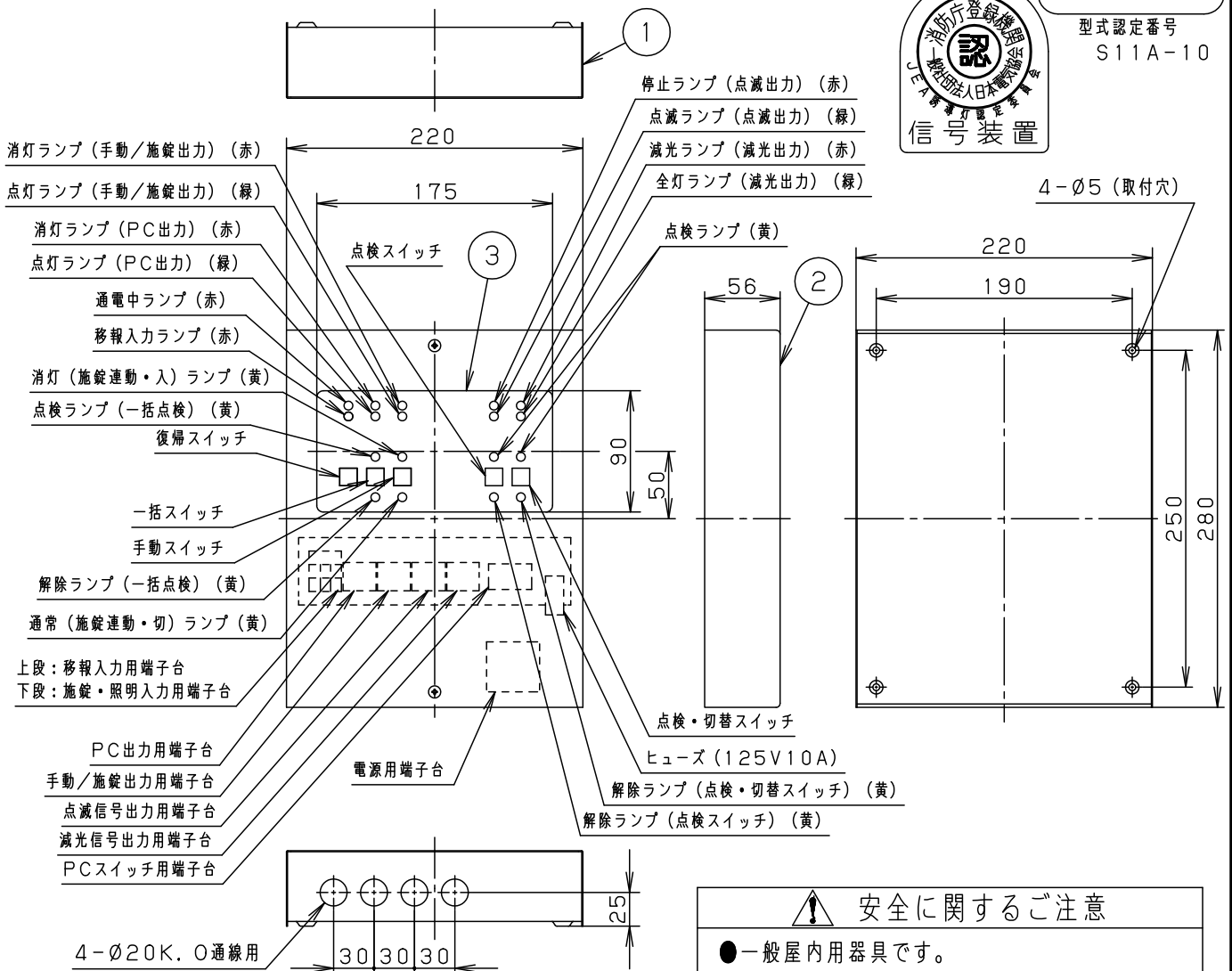


⚠ 注意：商品には寿命があります。詳細はCLX2021BAをご参照ください。



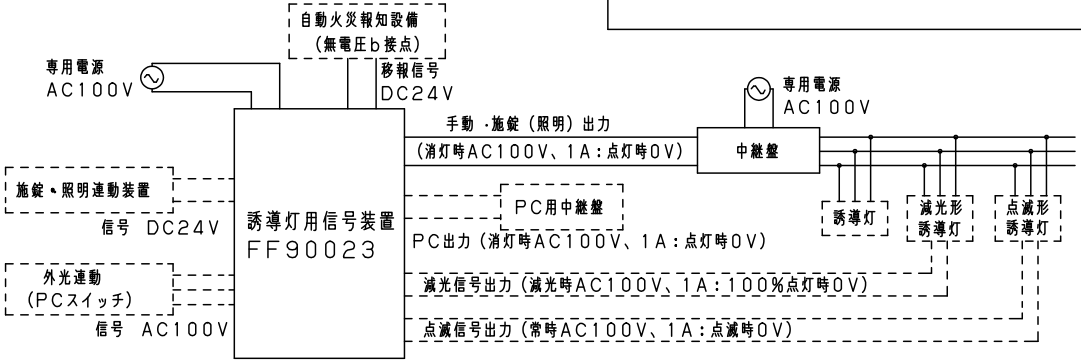
誘導灯用信号装置
型式認定番号
S11A-10



⚠ 安全に関するご注意

● 一般屋内用器具です。
屋外や、水気・湿気のある所では使えません。
絶縁不良による感電の原因となります。

結線図



注) 信号回路に使用する電線は、信号装置との最遠の点滅形誘導灯、減光形誘導灯または中継盤までの長さを、電圧降下10%以内としてください。
注) 詳細については別紙説明書 (FF90023-KG) をご参照ください。

定格電圧	入力電流	消費電力				品番
AC100V	0.1A (最大負荷 接続時4.1A)	5.6W (最大負荷 接続時405.6W)	5			FF90023
オフホワイト	マンセル5Y9/0.5		4	表示ランプ	LEDランプ	
器具質量	2.0kg		3	表示基板カバー	鋼板 (t1.0)	オフホワイト メラミン塗装
特記事項			2	本体カバー	鋼板 (t0.8)	オフホワイト メラミン塗装
			1	本体	鋼板 (t1.0)	オフホワイト メラミン塗装
部番	部品名	材質・素材厚	備考	パナソニック株式会社		



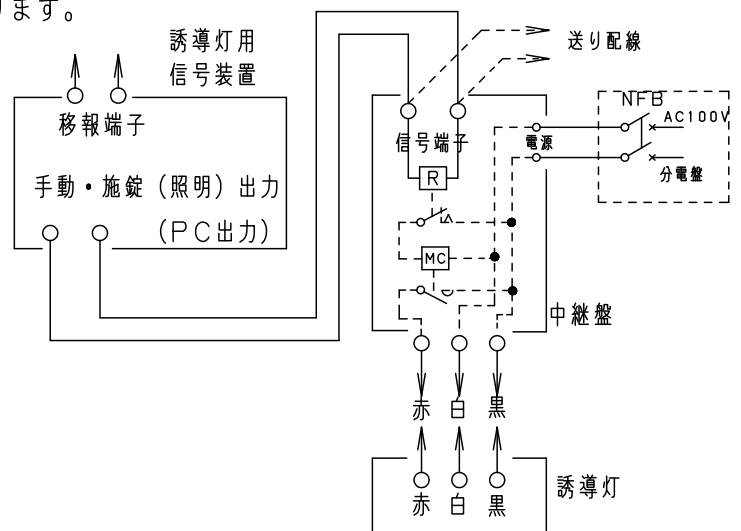
各部のはたらき

スイッチ/ランプ名	基本機能と表示ランプの状態
通電中ランプ	信号装置に電源（AC100V）が通電されていることを表します。
移報入力ランプ	自動火災報知設備からの移報信号の入力状態を表します。 （点灯：移報入力時 点滅：電源投入時・移報解除時 消灯：通常時）
復帰スイッチ	通常状態に復帰させます。（電源投入時および復旧時に操作します。）
PC出力ランプ	外光連動（EEスイッチ）による誘導灯の状態を表します。 消灯ランプ（赤）が点灯：消灯しています。 点灯ランプ（緑）が点灯：点灯しています。
一括スイッチ	全ての誘導灯を一括で動作させる場合に操作します。緊急時、点検時にご使用ください。 点検ランプ（黄）が点灯：一括点検中です。 解除ランプ（黄）が点灯：通常設定状態です。
手動/施錠出力ランプ	手動/施錠連動/照明連動などによる誘導灯の点灯状態を表します。 消灯ランプ（赤）が点灯：消灯しています。 点灯ランプ（緑）が点灯：点灯しています。
手動スイッチ	手動で誘導灯の点灯/消灯の切替、又は施錠・照明連動により制御（点灯/消灯）する場合に操作します。 消灯ランプ（施錠連動・入）（黄）が点灯：手動スイッチによる消灯モード、又は施錠・照明連動により制御（点灯/消灯）できるモードとなっています。 通常ランプ（施錠連動・切）（黄）が点灯：手動スイッチによる点灯モード、又は施錠・照明連動により制御（点灯/消灯）できないモードとなっています。
点滅出力ランプ	点滅形誘導灯又は、点滅装置の点滅動作状態を表します。 停止ランプ（赤）が点灯：停止しています。 点滅ランプ（緑）が点灯：点滅しています。
点検スイッチ	点滅形誘導灯又は、点滅装置の点滅切替点検を行う場合に操作します。 点検ランプ（黄）が点灯：点滅しています。 解除ランプ（黄）が点灯：停止しています。
減光出力ランプ	減光形誘導灯の点灯状態を表します。 減光ランプ（赤）が点灯：減光しています。 全灯ランプ（緑）が点灯：全灯（100%点灯）しています。
点検・切替スイッチ	減光形誘導灯の切替点検を行う場合に操作します。 点検ランプ（黄）が点灯：全灯（100%点灯）しています。 解除ランプ（黄）が点灯：減光しています。

1 この装置は、誘導灯を消灯するために、中継盤と組み合わせてご使用ください。
また、消灯方法によっては、他の機器も必要となる場合がありますので、ご注意ください。

2 中継盤は、各誘導灯分岐回路に1台使用となります。
分電盤と併設してください。
配線は、一般屋内配線とし、送り配線としてください。

3 誘導灯は電池内蔵の場合、3線配線としてください。消灯方法は、常用回路（当社の場合赤線）を中継盤の電磁接触器で切替えて行います。



4 この装置と自動火災報知設備との連動により、非常時一斉点灯することができます。
また緊急時は、一括スイッチにより一斉点灯することもできます。

品番	FF90023
説明書（1/5）	
片岡	今安
パナソニック株式会社	

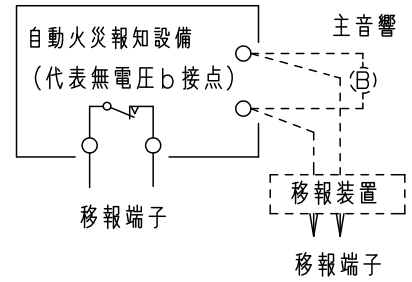


⚠ 注意：商品には寿命があります。詳細はCLX2021BAをご参照ください。

5 誘導灯用信号装置の設置場所は、自動火災報知設備と同室に設けてください。
 自火報との連動の際は自火報の代表無電圧b接点（常時ON）と信号装置の
 移報端子を接続してください。

当社の自火報設備P型1級にはこのb接点が設けてあります。

- (ご注意)
- b接点の無い場合は、移報装置をご用意のうえ右図のように、主音響端子と接続してください。
 - 配線は同一室内の場合以外は耐火配線もしくは耐熱配線としてください。



6 消灯方法は、ご使用目的によってお選びください。

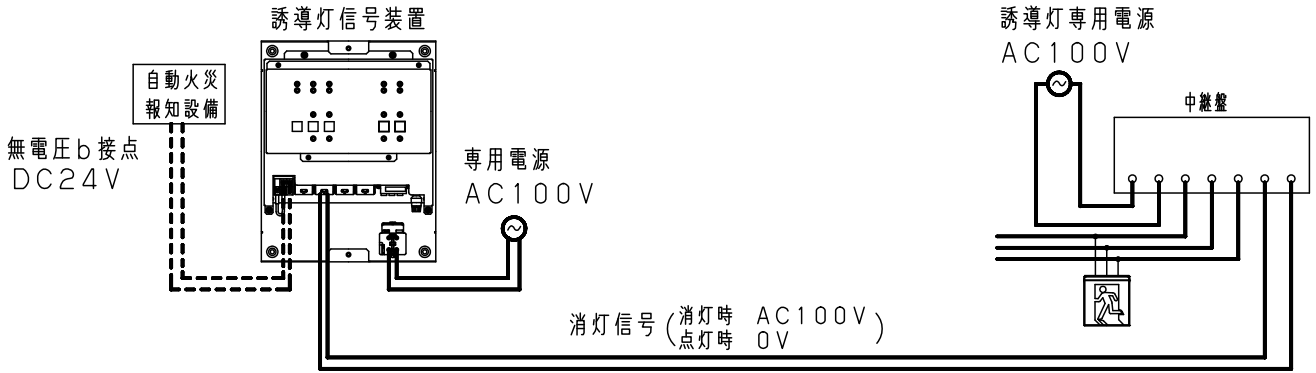
6-1 手動による消灯

無人となった場合、管理者の方が手動で消灯できる方法です。

この場合は信号装置の手動スイッチにて操作してください。

手動による消灯の場合、施錠・照明連動端子は短絡してご使用ください。

(手動による消灯時の配線図)

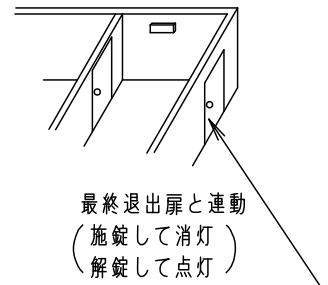


6-2 施錠連動による消灯

この消灯方法は、建物の最終退出扉に施錠状態を検出する施錠スイッチを設け、これと連動し消灯させます。この方法は、あくまでも、管理者が不在で自動的に連動させる方法ですから、有人の状態では消灯しないように、検出方法、スイッチの選定、施工方法等ご検討ください。

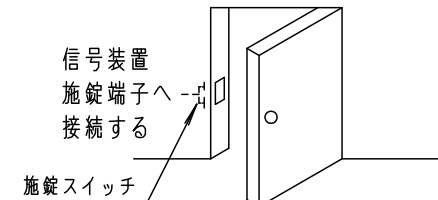
また、手動スイッチと併用して使用することはできません。

施錠スイッチは施錠時ONとなる接点を有したものを別途お求めください。



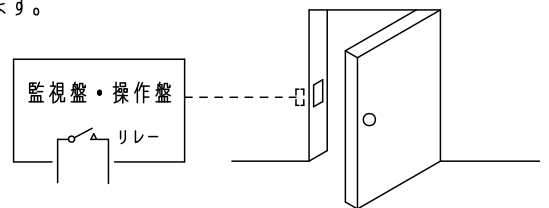
(施錠スイッチと検出方法の例)

(1) 扉の外枠に施錠スイッチを設ける場合



注) 当社では扱っておりません。

(2) シャッター等、有人の際は常に開かれており、無人状態では必ず閉じられる場所では、この開閉を防犯ドアスイッチ（マグネットスイッチ）等で検出する方法もあります。



品番

FF90023

説明書(2/5)

片 今
 岡 安

パナソニック株式会社

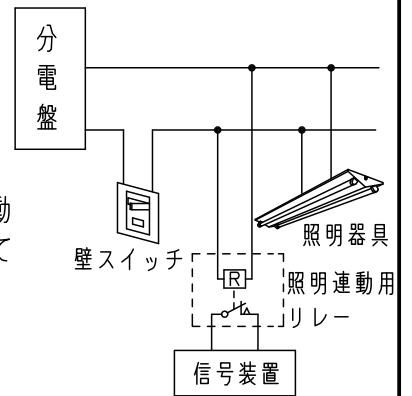


⚠ 注意：商品には寿命があります。詳細はCLX2021BAをご参照ください。

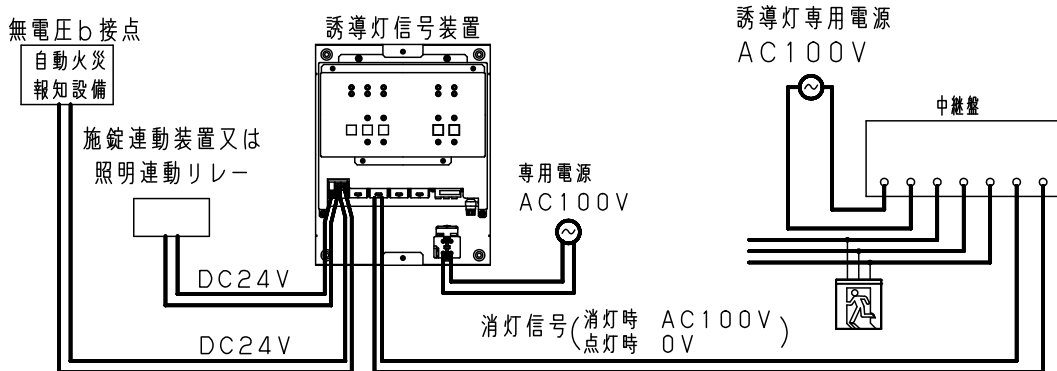
6-3 照明連動による消灯

有人の際、必ず点灯される照明器具と連動し無人状態で照明を消灯した場合、これをリレー等で検出し、自動的に消灯させる方法です。照明回路が、複数以上に分かれている場合は、いずれか1つが点灯した場合でも、誘導灯が点灯するように構成してください。

この連動用装置は、リレーで構成し、消灯時ONとなる接点を照明連動端子に接続してください。リレーは一般照明回路の電源電圧に合わせてください。このリレーを信号装置に内蔵したものは受注品となります。別途ご指定ください。外付けの場合はボックスに内蔵してください。また、手動スイッチと併用して使用することはできません。



(施錠連動／照明連動時の配線図)



6-4 外光連動による消灯

この消灯方法は、昼光利用で充分明るさが確保できる場所の誘導灯を光電式自動点滅器と連動し、一時消灯させる方法です。これに使用する自動点滅器はJIS C8369に適合する分離型のものご使用ください。電源電圧は100V用に限りません。

配線は、一般屋内配線としてください。

外光連動と手動又は施錠・照明連動を併用し、無人時消灯することもできます。

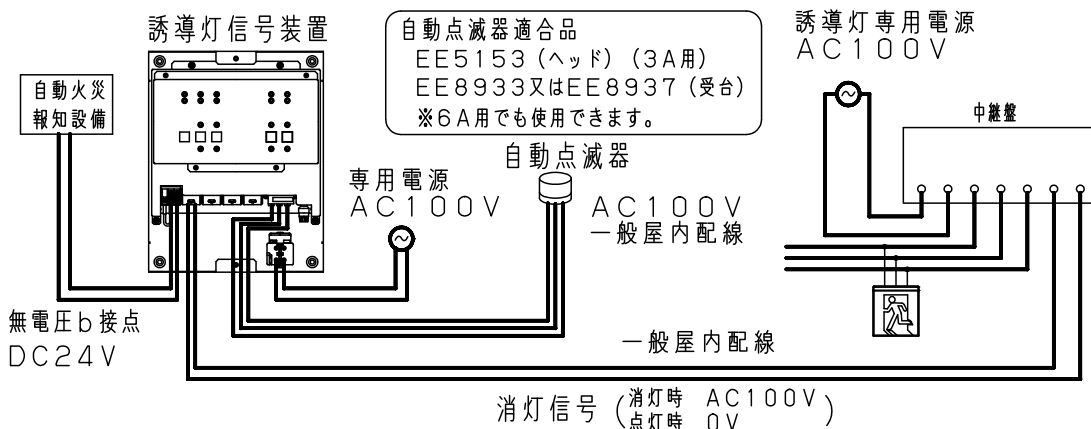
(ここでいう「併用」とは外光連動で消灯させたい誘導灯と手動又は施錠・照明連動で消灯させたい誘導灯を分けることができるという意味です。

一つの誘導灯を外光連動と手動又は施錠・照明連動の両方で消灯できるという意味ではありません。)

注) 自動点滅器は、避難口、避難経路の明るさを検出できる場所に設けてください。

一般的には、建物の北側に設置することをおすすめします。

(外光連動時の配線図)



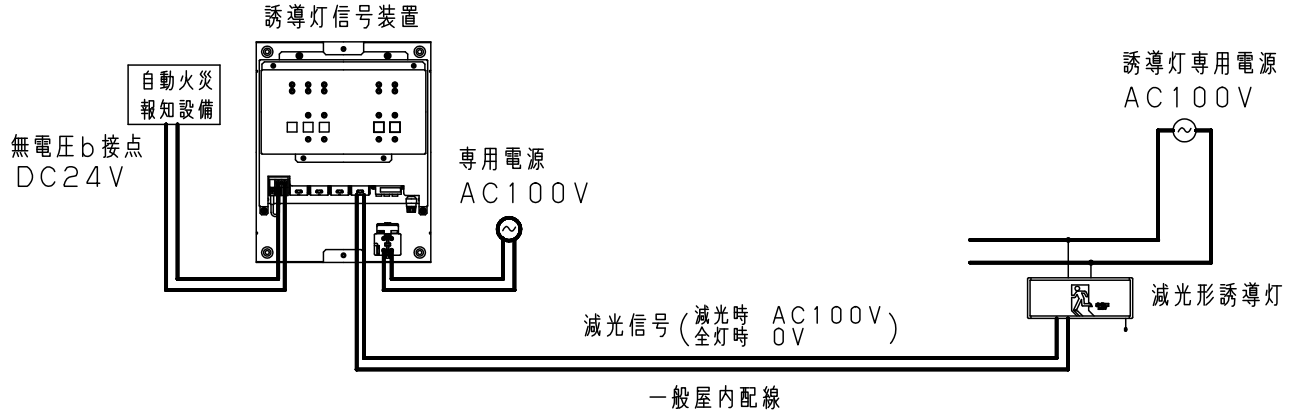
品番	FF90023
説明書 (3/5)	
片岡	今安
パナソニック株式会社	



7 減光形誘導灯をご使用の場合

信号装置から減光信号を直接誘導灯の信号端子に送ることにより減光することができます。
減光操作は、点検・切替スイッチで行ってください。

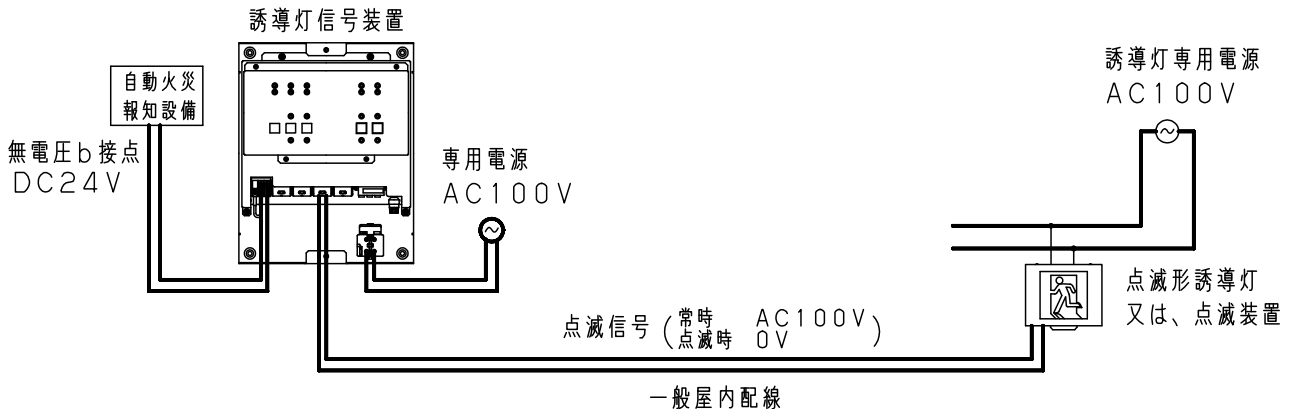
(減光形誘導灯使用時の配線図)



8 点滅形誘導灯をご使用の場合

信号装置から点滅信号を直接誘導灯の信号端子に送ることにより点滅することができます。
点滅操作は、点検スイッチで行ってください。

(点滅形誘導灯使用時の配線図)



(ご注意とお願い)

この信号装置を使用される場合は、事前に所轄消防署の承認を得てください。
その際には、消灯又は減光を行われる旨の関係図書を添えていただく必要があります。

- 1) 消灯する誘導灯に係る位置及び制御機器の位置図
- 2) 消灯する誘導灯及び設備に係る配線図
- 3) 無人状態の確認方法
- 4) 防火体制及び消灯操作責任者

以上の他に、各消防署より、必要になる書類がありますので所轄消防署にご確認ください。

品番	
FF90023	
説明書(4/5)	
片	今
岡	安
パナソニック株式会社	



⚠ 注意：商品には寿命があります。詳細はCLX2021BAをご参照ください。

組合せ適合機器と最大取付可能台数

●自動火災報知設備

自動火災報知設備	<p>・自動火災報知設備と必ず連動させて使用してください。</p> <p>自動火災報知設備は無電圧移報端子（b 接点）が付いているものを使用してください。 <small>（例：弊社 検定品 受信機P型1級）</small></p> <p>※無電圧移報端子（b 接点）がない場合は、移報装置が必要です。</p>
----------	---

●誘導灯を消灯して使用する場合のその他の必要機器

中継盤		特注品
消 灯 方 式	手 動	—
	外光連動 (PC連動)	光電式自動点滅器 <small>(例) 適合品 当社品番：ヘッド EE5153 (100V 3A) 受 台 EE8933 又は EE8937</small>
	施錠連動	施錠連動装置 施錠時ONとなる無電圧接点を有するもの。
	照明連動	照明消灯時にONとなる無電圧接点回路構成のものを分電盤に内蔵する。

●この信号装置1台で制御できる誘導灯の最大取付可能台数は、次のとおりです。

	信号装置の容量	中継盤取付台数 (※1)	分岐回路当たりの LED誘導灯 (FA20312Cの場合) (※2)	消灯できる LED誘導灯 (FA20312Cの場合) (※3)	減光及び点滅 できる誘導灯
手動・施錠（照明）出力	AC100V 1A	50個	432台	21600台	—
PC出力	AC100V 1A	50個	432台	21600台	—
減光信号出力	AC100V 1A	-----	-----	-----	50台
点滅信号出力	AC100V 1A	-----	-----	-----	62台(※4)

注) 上記使用可能台数は一例ですので、必ず使用する誘導灯の入力電流値で算出してください。

計算方法

- ※1. 中継盤の取付台数 ————— 接続する中継盤の入力電流が20mAの場合

$$\frac{\text{信号装置 } 1\text{A}}{\text{入力電流 } 0.02\text{A}} = 50\text{個まで}$$
- ※2. 分岐回路当たりのLED誘導灯 ————— 中継盤の容量が20Aの場合、80%負荷とする。(16A)
 LED誘導灯の入力電流=0.037A (FA20312Cの場合)

$$\frac{\text{中継盤の接点容量 } 16\text{A}}{\text{入力電流 } 0.037\text{A}} = 432\text{台}$$
- ※3. 消灯できるLED誘導灯の取付台数 ————— (中継盤の取付台数50個) × (1分岐回路当たりのLED誘導灯432台)
 (※1と※2の結果より算出) = 21600台
- ※4. 点滅できる誘導灯の取付台数 ————— 信号入力電流の合計が1A (1000mA) まで
 点滅形誘導灯の信号入力電流=16mA (FA20331Cの場合)

$$\frac{\text{信号装置容量 } 1000\text{mA}}{\text{信号入力電流 } 16\text{mA}} \approx 62\text{台}$$

品番	
FF90023	
説明書(5/5)	
片 岡	今 安
パナソニック株式会社	

